



第 32 回 「福岡方式」 アフリカへ Part II

国連ハビタット福岡本部と（公財）福岡県国際交流センターによる合同レクチャーシリーズ「ハビタットひろば」、第 32 回目のレクチャーテーマは「『福岡方式』アフリカへ Part II」です。

皆さんは「福岡方式」と呼ばれるゴミの埋め立て処分技術をご存知でしょうか？福岡大学と福岡市の共同研究によって 1970 年代に開発された準好気性埋立構造で、現在では福岡市はもちろんのこと、多くの自治体において採用されているほか、環境にやさしく、管理が比較的容易であり、現地で入手可能な資材等を活用できるなどの利点から、多くの開発途上国においても採用されています。

アフリカ各国のインフラ環境改善に取り組む国連ハビタット・アフリカ本部では、急激な人口増加や都市化に直面するケニアの中小規模都市を対象に、「福岡方式」による処分場の建設と廃棄物システムの確立に取り組みました。処分場は無事完成し、本格稼働を待っているところです。

昨年 4 月に開催した Part I では、「福岡方式」の解説や現地で掘削作業が始まったところまでご紹介しました。今回は、この事業のアドバイザーであり、「福岡方式」の世界への普及に務めておられる福岡大学工学部社会デザイン工学科の松藤教授に再びご登壇いただき、事業完成報告と今後の展望をお話させていただきます。

日時：2016 年 6 月 1 日（水）18:30-19:30

会場：アクロス福岡 3 階 こくさいひろば（福岡市中央区天神 1-1-1）

開催概要

◎入場無料 ◎定員 50 名程度

*裏面の申込み用紙に記入の上、FAX でお申込みください。



PROGRAMME	
18:30-18:35	開会
18:35-19:30	講演会「福岡方式 アフリカへ Part II」 話し手： 福岡大学工学部社会デザイン工学科 松藤 康司 教授 略歴： 専門分野は衛生工学、廃棄物工学、環境微生物。大学で教鞭をとる傍ら、国連ハビタットや JICA（国際協力事業団）、国連開発計画等のアドバイザーを務め、マレーシア、イランや中国等に「福岡方式」を普及。 聞き手： 星野 幸代 (国連ハビタット福岡本部 本部長補佐官)
	19:30



次回予告：2016 年 8 月 1 日（月）14:00-15:00 に開催します。テーマは「ハビタット III と日本」を予定しています。

主催：国連ハビタット福岡本部（アジア太平洋担当）・（公財）福岡県国際交流センター

後援：福岡県・福岡市



国連ハビタット・(公財)福岡県国際交流センター合同レクチャーシリーズ
ハビタットひろば

第 32 回 「福岡方式」 アフリカへ Part II

2016 年 6 月 1 日(水)レクチャーへの参加を下記のとおり申し込みます。

フリガナ	
学校名・団体名	
フリガナ お名前	参加人数 人
〒 ご住所	
お電話番号	FAX
E-mail	

■主催者の参考までに、下記について教えてください。

- ◎ この会議をどのようにしてお知りになりましたか？
- ・国連ハビタットまたは福岡県国際交流センターからの案内で
 - ・インターネットで・・・(掲載ホームページ：)
 - ・その他・・・・・・・()

ご協力ありがとうございました。



参加ご希望の方は上記を記入の上、国連ハビタット福岡本部まで FAX ください。
 申込受付後、整理券は送付しませんので、当日直接会場にお越しください。定員
 オーバーの時のみご連絡差し上げます。

国連ハビタット福岡本部 宛

FAX: 092-724-7124